



2025 年 11月号

満天星

いっだん

伊那弥生ヶ丘高校図書委員会

後期になり、図書委員会も新体制となりました。
今月には新三役が担当させていただきます。今後とも
図書館・図書委員会をよろしく願います。



変な絵 雨穴

『それではこれから、
一枚の絵をお見せします。』

母親を殺した11歳の女の子が描いた
「文鳥を守る樹の絵」。あるブログに
投稿された5枚の「未来予測図」。
5歳の男の子が母の日のプレゼントに
描いた「灰色に塗りつぶされたマン
ションの絵」。美術教師が死の直前に
描いた「震えた線で描かれた山並み
の絵」...。奇妙な点が存在する変な絵。
全ての絵に隠された謎を解き明かし
たとき、衝撃の真実が明らかになる。

青く滲んだ月の行方 青羽悠 著

人間には誰であれ、それ相応の悩み
が過ぎものだ。何れを「好き」と言える
人が眩しいくらい、人を繋ぎとめるや
り方が分からない」と感じる大地、高
校までの勇気や意志を見失ってしまった
た和弘...。そんなどこか学生以上大人
未満な彼らの思案、葛藤を筆身大
に描いた連続短編集。茜さす日に嘘
を隠して、(真下みこと 著)と繋がる世
界観で、大学生たちの少し苦い青春
をお楽しみあれ。

「カラフル」

森絵都

一度死んだ「ぼく」は、天使の抽選に
選ばれ、前世の過ちを償うため下界で
ホームステイ修行をすることになる。

「ぼく」は自殺を試みた小林真の体に
乗り移り修行に勤しむが、小林真の家庭環境、生活環境は
ともに最悪で、次第に修行に消極的になっていく...。
読み終わった後には、生きることへの期待が少しだけ
高まる 温かい一冊です。

